

自立支援・重度化防止の取組報告書

法人名	社会福祉法人 播陽灘	事業所名	特別養護老人ホームいやさか苑
サービス種類	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	事業所住所	姫路市白浜町宇佐崎北1-29番地
取組分野		取組期間	令和6年1～12月
<input type="checkbox"/> 機能訓練 <input type="checkbox"/> ロハピリテーション <input type="checkbox"/> 口腔ケア <input type="checkbox"/> 栄養ケア その他 (<input type="checkbox"/> 移動移乗福祉用具の適合)			

自立支援・重度化防止の取組（概要）

特別養護老人ホームは、概ね要介護度3以上の方が入居する。いやさか苑では、移動や移乗を行う際に介護職員による徒手的な介護を行うのではなく、入居者の自立度に適合する移動移乗福祉用具を活用している。杖、シルバーカー、歩行器、スタンディングリフト、床走行式リフト、ストレッチャーなどである。自立支援のために歩行不安定の方から看取り期までの状態像と移動移乗福祉用具の適合を検討する。活用が定着するように、また職員同士のケアの統一が図れるように施設内の会議にルールを作っている。法人全体でも取り組み、転倒などの事故件数が大幅に減っている。

自立支援・重度化防止の取組（具体的内容）

タイトル	「ムーブエイドケア」
きっかけ（経緯）	施設のオープン当時に抱きかかえる移乗を行っていたため、入居者の脇腹に「内出血」を主治医に発見され虐待を疑われた。入居者の脆弱さを理解し人力での移乗に限界を感じた。移動移乗について適切な移動移乗福祉用具の適合を検討した。
取組の特徴	利用者の動きを移乗移動福祉用具で支援するケアを行っている。

ムーブエイドケア・・・①介護者は利用者に適合する移動移乗福祉用具を選定の支援をする。②移動移乗福祉用具を活用し移動移乗を行う。③利用者の活動が広がり文化的な生活が整いやすい。④二次的効果として介護者の腰痛予防にも効果がある。
この考え方を職員が理解し組織内での活用の定着を行うために、介護職員から管理者への意見が連動する会議のあり方をルール化して実践している。その結果、介護の標準化が定着し利用者から職員への信頼が深まるとともに自立や尊厳の保持ができる。怪我予防できることで重度化の予防にもなる。



- 利用者・介護者の事故が減る
- 利用者が職員に遠慮する気持ちが減る
- 活動範囲が広がり、自由度が増し生活にメリハリができる
- 文化的活動などにも良い影響が表れる
- 自立・重度化予防ができる

